

報告期間	ユーザー様名				S I 名・指導者名			
2006年12月1日()から	A社				OFFICE-IGUCHI			
2006年12月31日()まで					井口 一成			
製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など)								
家電品部品、OA機器部品								
生産形態、工程の要素								
組み立て 機械加工 板金 プレス 溶接 塗装 メッキ 研磨 鋳物 鍛造 熱処理 実装、SMT 溶解 スリット 切断 溶断 成型 圧延 凝固 接着 食品加工 プラスチック加工 化学薬品 衣類(裁断・縫製・ボタン) 皮、ゴム、紙加工 織、編 印刷(除マニュアル等)・手書き 染色 エッチング その他()								
指導種類	新規導入 バージョンアップ 再導入 その他()							
今回指導回数	86回目～87回目							
TPiCSバージョン	TPiCS X Ver3.1							
オプション・DB	受注販売管理OP、							
アイテム件数	3155件	BOM	4157件	所要量計算	22回/月	製番展開	回/月	
実績インプット	184件/日	伝票発行	22回/月	伝票発行	165件/回	製番展開	件/回	
出席者	社長、生産管理PG責任者、運用担当者、							
今回の指導目的								
【今月の予定】								
・生産管理担当者が中心となり生産管理業務の運用を実施する。								
【12月の実施内容】								
発言者：(社長、TPiCS導入責任者、運用責任者、各課の担当者、)								
・社長、TPiCS導入責任者、運用責任者と、今年一年の活動を反省し来年の活動計画について話し合いをしました。								
【社長からの要求項目】								
・一年の活動のまとめをして、来年の計画を作成する。								
【OFFICE-IGUCHIからの社長への提案】								
・来年は得意先が生産拠点を中国に変更するため、受注が減少する。								
運用が出来るようになったTPiCS生産管理システムを活用して受注が減少したときの対応を提案した。 目的は、不良資産の発生を最小限にする事です。								
機種打ち切りと生産量減に対応する、マスター項目の見直し。								
受注残の見直し。								
発注残の見直し。								
在庫の棚卸。(製品在庫、仕掛在庫、外注在庫、材料在庫)								

【1月の予定】

- ・ T P i C S 生産管理システムの現状運用状況を調査する。
- ・ 受注減少時の対応をする。

結 論

【所感】

T P i C S 生産管理システムの運用が出来る様になった。

来年は受注が減少する事が分かっている、打ち切りの機種も発生する。

機種打ち切りや生産量減による、不良資産の発生を最小限にするための対策を T P i C S の機能と情報を活用する事で実績を上げたい。

T P i C S 導入効果を実証する機会だと思っています。

検討事項・要回答事項・要継続審議事項

事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者		
		年 月 日()			